

## 令和 2年度 事務事業マネジメントシート

| 事業の基本情報 |                 |              |               |         |
|---------|-----------------|--------------|---------------|---------|
| 事務事業名   | 男女共同参画推進事業      | 担当課          | 市民協働推進課       |         |
| 総合計画    | 政策              | こころ豊かに暮らせるまち | 計画期間          | 平成 8年度～ |
|         | 施策              | 人権の尊重        | 種別            | 任意の事務   |
|         | 基本事業            | 男女共同参画意識の向上  | 市民協働          | 事業協力    |
| 予算科目コード | 01-020704-01 単独 | 根拠法令・条例等     | 守谷市男女共同参画推進条例 |         |

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

| 背景（なぜ始めたのか）   | 内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）   |
|---|--|
| <p>総理府（現在は内閣府）に男女共同参画室、審議会及び推進本部が設置されたことを受け、男女共同参画への取組みが始まった。市では男女共同参画推進条例をもとに、その理念の実現のための計画を策定し、それに基づいた事業を行っている。</p> | <p>男女それぞれが自立し、自らの個性と能力によって多様な選択の幅を広げ、お互いを尊重し合い、対等なパートナーとして共に積極的に社会に参画することができる「男女共同参画社会」の早期実現のため、下記の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画に関するセミナーやフォーラムの開催による啓発を行う。</li> <li>・子育て中の方でも市事業に参加しやすい環境を整えるための保育ルームを開設する。</li> </ul> |
| 目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）  |  |
| <p>市民及び市内事業者が市や市民団体が開催するセミナーやフォーラムに参加することで、性別による固定的役割分担意識の解消など、男女平等意識づくりを行う。</p>                                      |  |
| （参考）基本事業の目指す姿   |  |
| <p>男女がともに責任を分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮するために、固定的な性別役割分担意識がなくなるようにする。</p>  |  |

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

| 目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）   | 具体的内容とスケジュール   |
|---|--|
| <p>①令和元年は各中学校でデートDV講座を開催した。男女共同ネットワーク協議会が解散したため、職員で講座をすることとなったが先生の協力もあり一定の成果があった。絵てがみコンクールは3校提出無しでしたので、啓発事業に積極的に取り組む必要がある。</p> <p>②近年、性的マイノリティ者に関する問題が注目されている。性別だけでなく、性自認や性的指向によっても差別されてはいけないという認識を啓発していく必要がある。</p> | <p>①学校ごとのニーズを把握し、的確な啓発事業を実施する。<br/>【スケジュール】<br/>通年：啓発プログラムを適宜作成する。<br/>11～12月 中学生デートDV防止講座（中止）<br/>12～1月 男女共同参画絵てがみコンクール<br/>3月 男女共同参画絵てがみコンクール作品展</p> <p>②LGBT関連啓発等<br/>【スケジュール】<br/>1月 性的マイノリティに関する啓発講座【開催していない】</p> |
| 改善内容（課題解決に向けた解決策）   |  |
| <p>①4月の校長会においてデートDV講座について説明を行ったことで、年度内の開催に向けて学校側に事前に調整を依頼することができた。その後具体的なスケジュールを相談し、市内4中学校で開催できることが決定した。</p> <p>②性的マイノリティに関する認識、知識を深めるため、外部講師に講演を依頼し、まずは職員向けの啓発講座を開催する。</p>   |  |
| 次年度のコストの方向性（→その理由）  |  |
| <input type="checkbox"/> 増加<br><input type="checkbox"/> 維持<br><input type="checkbox"/> 削減   |  |

| R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）   |  |
|--|--|
| R01年度の評価（課題）   | R02年度の取組（評価、課題への対応）  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・デートDVに関する啓発プログラムを行うとともに、性的指向や性自認の多様性について理解を促進するための講座等を市内公立小中学校を対象に継続する。</li> <li>・幅広い市民層を対象とした研修を実施するなど、男女共同参画意識の向上を促進する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デートDVに関する啓発プログラムについては、コロナ禍における緊急事態宣言発令の影響を受け、学校側より開催が難しいとの報告があったため、未実施となった。</li> <li>・市内の小学5年生と中学2年生を対象に「男女共同参画 絵てがみコンクール」を開催し902名の応募があり、若年層に対して男女共同参画の意識付けをすることができた。</li> </ul> |

| 評価（指標の推移、今後の方向性）  |  |  |        |        |        |       |          |
|---|--|--|--------|--------|--------|-------|----------|
| 指標名   | 基準値（H26）   | H28年度  | H29年度  | H30年度  | R01年度  | R02年度 | 目標値（R03） |
| セミナー・フォーラム・啓発の延べ参加者数（人）   | 181.00   | 340.00   | 477.00 | 891.00 | 660.00 | 0.00  | 660.00   |
| セミナー・フォーラム・啓発事業の開催数（回）  | 4.00   | 2.00   | 3.00   | 3.00   | 5.00   | 0.00  | 5.00     |
| 成果の動向（→その理由）  |  |  |        |        |        |       |          |
| <input type="checkbox"/> 向上<br><input type="checkbox"/> 横ばい<br><input checked="" type="checkbox"/> 低下 | 啓発事業の開催数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受けた。市内の中学生を対象に行うデートDVに関する啓発プログラムは、学校側より緊急事態宣言に伴う休校があり、学校カリキュラム遂行のために日程上開催が難しいと報告があり未実施。市職員・市民を対象とする研修についても新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催ができなかった。 |  |        |        |        |       |          |
| 今後の事業の方向性（→その理由）  |  |  |        |        |        |       |          |
| <input type="checkbox"/> 拡大<br><input type="checkbox"/> 縮小<br><input type="checkbox"/> 維持             | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化<br><input type="checkbox"/> 統合<br><input type="checkbox"/> 廃止・終了  | ・感染状況について熟慮しながら、啓発講座や研修会の開催を計画し、男女共同参画、性的指向や性自認の多様性についての理解促進を図る。 |        |        |        |       |          |

| コストの推移      |        |         |         |         |         |         |
|-------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 項目          |        | H30年度決算 | R01年度決算 | R02年度決算 | R03年度予算 | R04年度見込 |
| 事業費         | 計      | 68      | 134     | 17      | 277     | 277     |
|             | 国・県支出金 | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
|             | 地方債    | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
|             | その他    | 0       | 0       | 0       | 1       | 1       |
|             | 一般財源   | 68      | 134     | 17      | 276     | 276     |
| 正職員人工数（時間数） |        | 582.00  | 974.00  | 635.00  | 0.00    | 0.00    |
| 正職員人件費      |        | 2,430   | 3,996   | 2,570   | 0       | 0       |
| トータルコスト     |        | 2,498   | 4,130   | 2,587   | 277     | 277     |